

# 遠州おおやねの家

〔応募者名〕 勤務先名: kameplan architects 一級建築士事務所 勤務先住所: 東京都江東区潮見 2-6-1  
 連絡先(勤務先) TEL 050-7578-9022 FAX 050-7578-9022  
 〔設計者〕 団体名・氏名・住所・連絡先等 kameplan architects 一級建築士事務所 大出達弘 東京都江東区潮見 2-6-1 050-7578-9022  
 〔施工者〕 団体名・氏名・住所・連絡先等 有限会社 入野渥美建築 渥美嘉彦 静岡県浜松市西区入野町 8966-4 053-448-0958

【設計趣旨と特徴】

薪ストーブディーラーを営む施主のライフスタイルを表現するために、薪ストーブを軸として計画した住まい。熱を上手く集めて回すために、各部屋が面する様に吹き抜けを配し、建物頂部の「チャンバー」に集まった空気を床下に戻り、蓄熱させるために「サーキュレーションシステム」を考案。夏期には夜間の涼しい外気を床下に取り入れている。また、地域に根ざす家として、天竜杉を構造材、床仕上げ、外壁全面に採用。壁も砂漆喰撫で切りとして、柔らかな空間に仕上がっている。

【住宅概要】

竣工年: 2013年  
 敷地面積: 280.70m<sup>2</sup>(84.91坪)  
 建築面積・建蔽率: 95.03m<sup>2</sup>(28.75坪)/33.85%  
 延床面積・容積率: 133.32m<sup>2</sup>(40.33坪)/47.49%  
 構造: 木造軸組在来工法  
 家族構成: 夫婦2人、子供2人  
 次世代省エネ基準地域区分: IVb

【住まい手のコメント】

どうしたら薪ストーブを最大限に活用できるか、設計者と考えたのが5、6年前。ようやく室内の温熱環境を薪ストーブでまかなえる仕組みができあがりました。そればかりでなく、生活に薪ストーブが溶け込める様に配置場所も考え、ともに暮らせる家となりました。

【自立循環型住宅の概要】

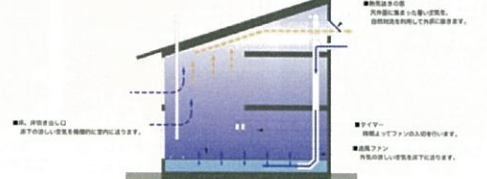


「寒い地域以上に必要。冬は薪ストーブで暖をとる。夏は自然風を取り入れて、涼しい空間を創出する。自然エネルギーを上手に活用する。自然エネルギーを上手に活用する。自然エネルギーを上手に活用する。」



冬のサーキュレーションシステムのはたらき。建物の一番高い部分に溜まった熱も、無駄無く家中に回します。

「暑い地域以上に必要。夏は自然風を取り入れて、涼しい空間を創出する。自然エネルギーを上手に活用する。自然エネルギーを上手に活用する。自然エネルギーを上手に活用する。」



夏のサーキュレーションシステムのはたらき。夜間の北側の涼しい外気を床下に取り込んで、少しでも涼を取る「工夫」です。

